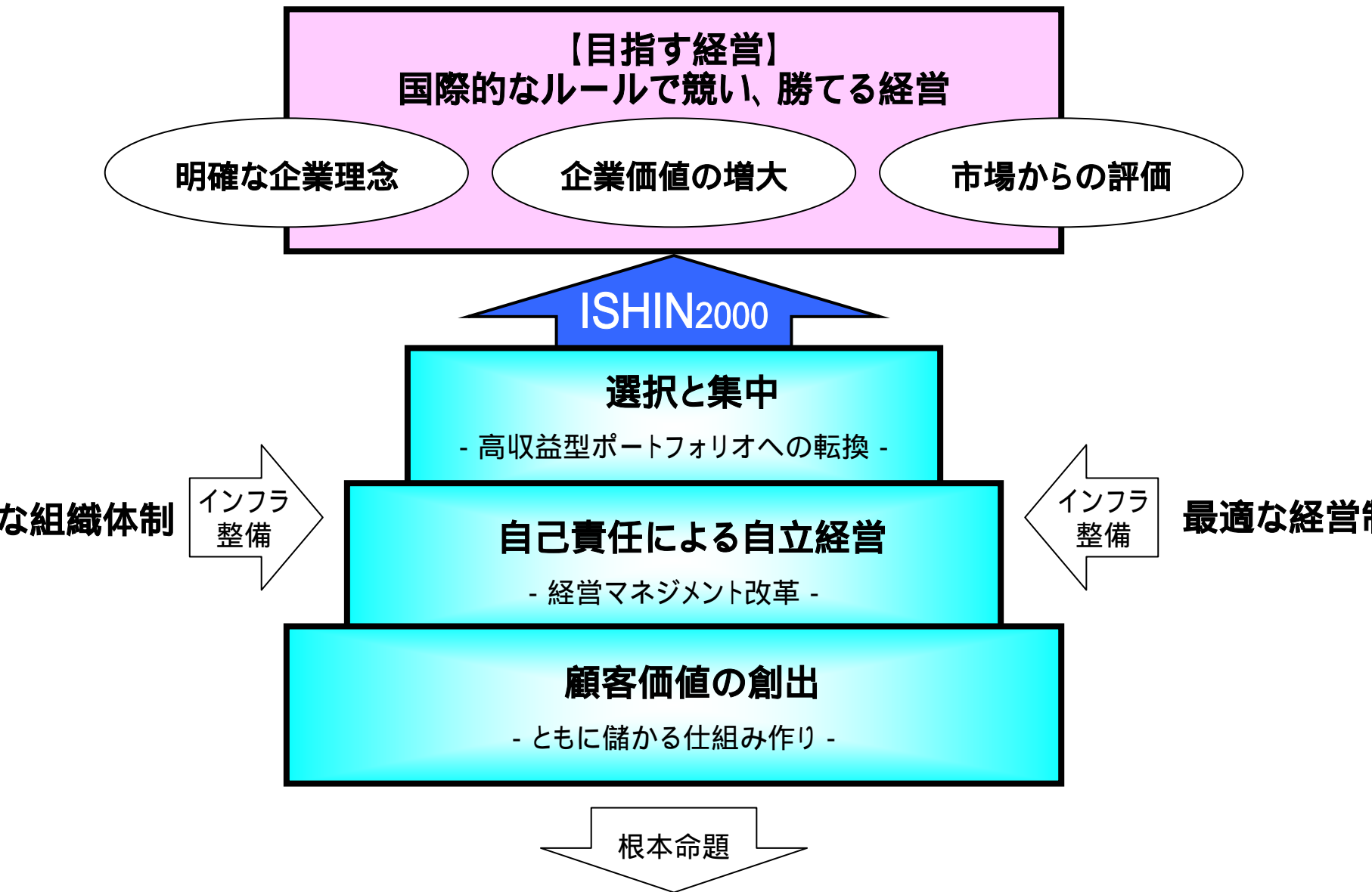


目的:旭化成グループを「安定性」「収益性」「成長性」ある企業集団に変えること



実施したこと

積み残したこと

JVによる収益改善と生き残り

- ・A&M、PS中国合弁、(POM中国合弁予定)

他社への事業譲渡による発展

- ・PP、CF、食品、A/TB、天昇、鳴戸、キミカソル、蝶理樹脂等

上記方策がない事業の撤退

- ・アイルランド、台旭、レーヨン、ハイプリート、スクラムハウス等

事業の選択

〔構造改善〕
〔事業整理〕

赤字事業及び要構造改善事業の整理未完

国内No.1での生き残りと収益拡大

- ・SM、CH、ADA、レオナTC、不織布等の増強

高付加価値品へのシフト

- ・ロイカ、ハイポア、エラストマー等の増強、PCDL事業化

国際競争力ある事業の海外展開

- ・PPEシンガポール、PS張家港、AN韓国等

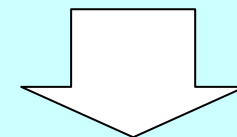
強み発揮、伸ばせる領域での拡大

- ・DFR、PI、HE、LSI等の増強、ジップロック拡大等
- ・血液フィルター増強

事業の集中

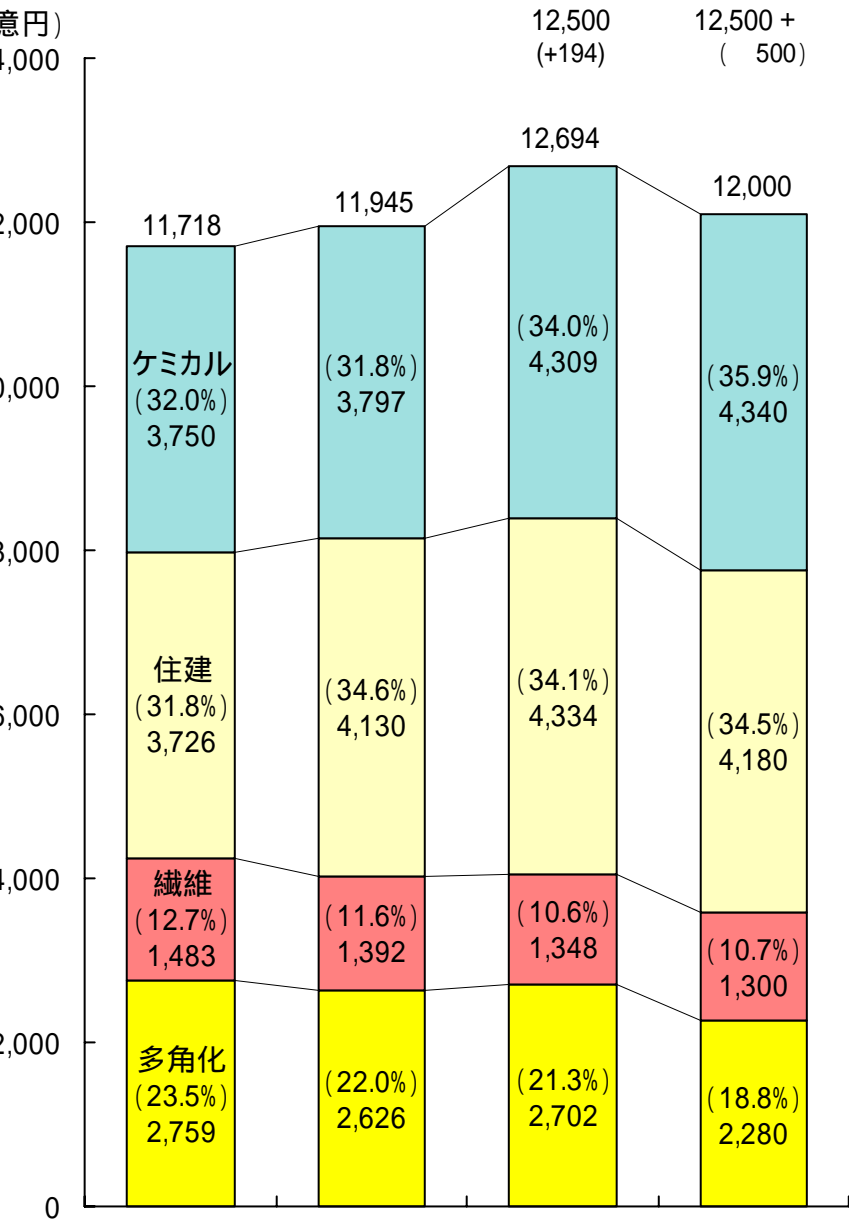
〔収益拡大〕
〔成長戦略〕

集中のスケールとスピード不足
収益拡大の効果発現が未だ不充

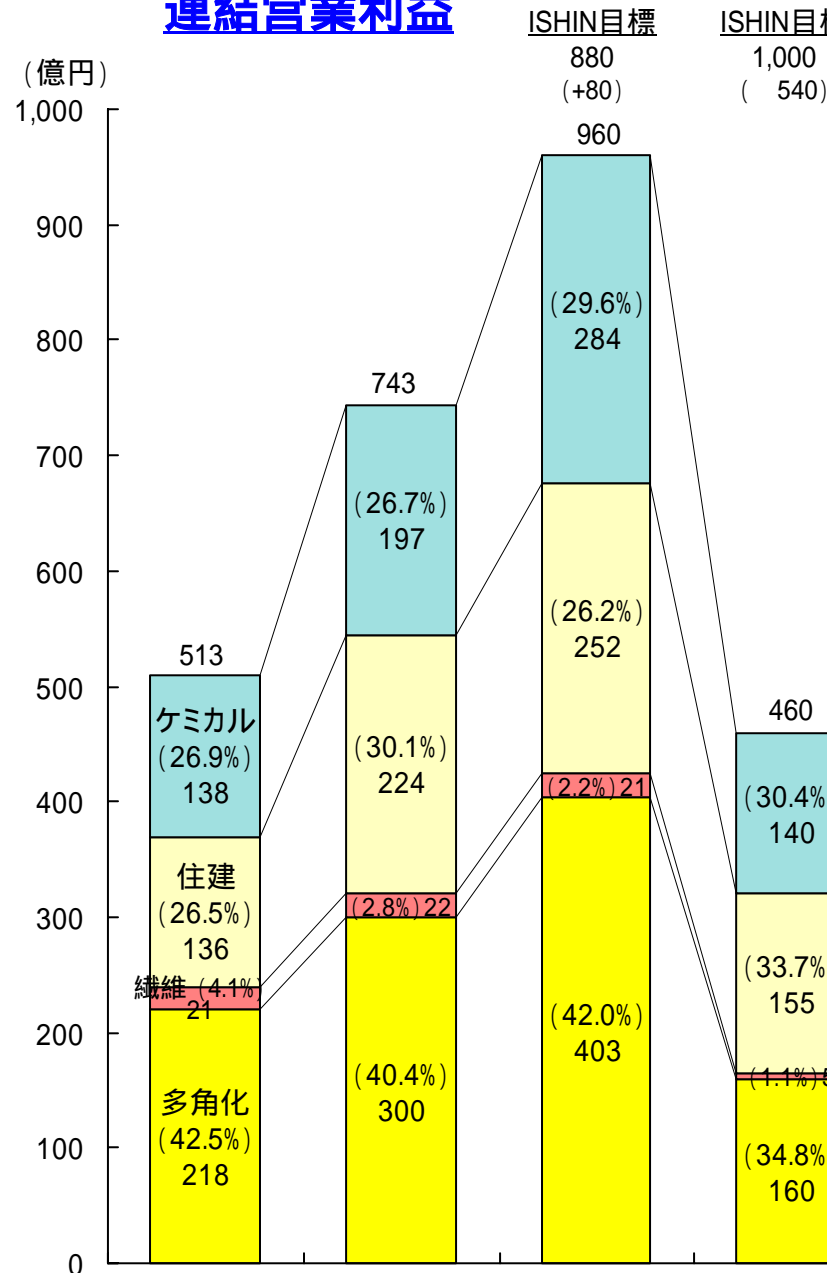


高収益型ポートフォリオへの転換遅
市況変動の影響を受けにくい事業構
への転換遅れ

連結売上高



連結営業利益



1901年 2001年、100年間の日本人の生活

個人所得の伸び	A	110,000	倍
物価上昇倍率	B	3,500	倍
純所得の伸び (A / B)	C	35	倍

1955 ~ 2000年 大卒初任給 \$ベースで 70倍に拡大

- ’55年 1.1 万円 (360円 / \$)
- ’00年 21.0 万円 (100円 / \$)

	中国 (直近)	日本 (1960年前後)
平均寿命(才)	女 72 男 68 (1998年)	女 72.92 男 67.74 (1965年)
乳児死亡率(千分比)	31 (1999年)	30.7 (1960年)
一次産業のGDP化(%)	15.9 (2000年)	16.7 (1959年)
都市住民のエンゲル係数(%)	39.2 (2000年)	38.8 (1960年)
1人当り電力消費量(kwh)	1071 (2000年)	1236 (1960年)

21世紀型企业モデル

選び抜かれた
多角化経営

持続的な
利益成長経営

コングロマリット
プレミアム経営

ISHIN

マネジメント改革

・最適なグループ
経営体制の確立

利益重視

・資本効率
・人的効率
・キャッシュフロー

} 重視

事業構造改善

・高収益型ポート
フォリオへの転換

グループ理念

人びとの「いのち」と「暮らし」への貢献

快適な「暮らし」

安心な「環境」

健康な「いのち」

造
セス

省エネ・省資源プロセス
- 低ロス率
- 低廃棄物
- バイオプロセス

低環境負荷プロセス

料
品

建築材料
機能繊維
機能化学品
電子材料・部品
生活製品

省エネデバイス
分散型電源
生分解性プラスチック
再生リサイクル

環境親和型材料

生体適合材料
医薬品・中間体

住環境
- 住宅
- 都市開発
- 住宅周辺サービス

環境エンジニアリング

環境評価・分析サービス

メディカルデバイス

サービス
・
ソリューション

コミュニケーションサービス
- 情報ネット
- 音声認識ソフト

環境修復・再生サービス

医療サービス